

報道関係各位

2022年10月3日

～アクティオオリジナルの安全システム「自動制御」で運転者を支援～  
「後付け衝突軽減システム」搭載コンバインドローラ

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、AI カメラで人を検知し、「自動制御」で運転者を支援するアクティオオリジナル商品「後付け衝突軽減システム」搭載コンバインドローラ<sup>※1</sup>のレンタルを、2022年10月4日(火)から開始いたします。



近年、工事現場におけるコンバインドローラによる挟まれ事故が多く発生しています。現在、新車のローラに赤外線センサーやミリ波レーダーを搭載した、衝突軽減システムの車両は存在しますが、既存のローラに後付けできる衝突軽減システムは、これまで開発されていませんでした。

今回、アクティオがオリジナルで開発した「後付け衝突軽減システム」は、ローラの後方への走行時に人を検知した場合、自動でシリンダーが伸長する装置が可動、前後進レバーを中立の位置に戻し、減速・停止をする制御装置です。バック走行時の検知距離は8m(5mから減速開始)、検知幅は車体幅となっています。こちらは特許出願中です。

尚、本商品は、2022年10月4日(火)～5日(水)にポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)で開催される「建設技術フェア 2022in 中部」にて映像出展いたします。

アクティオは今後も「レンタルティンギ」のノウハウを活かし、様々な課題を解決する製品やサービスを提供していきます。

<sup>※1</sup>:地面を締め固める際に用いられ、前輪か後輪、どちらかにローラ(鉄輪)またはタイヤを備えている、ロードローラの種類。

## ■「後付け衝突軽減システム」搭載コンバインドローラ概要

- ①バック走行時に AI カメラが人のみを検知
- ②検知距離 8m(5mから減速開始)/検知幅は車体幅
- ③人を検知すると自動でシリンダーが伸長、前後進レバーを中立の位置に戻し、減速・停止(パーキングブレーキが自動作動)する



AI カメラ



パーキングブレーキ解除ボタン

### ④検知エリア

黄色エリア:人を検知(検知範囲8m)し、警報音と積層灯(黄色)を点灯させ オペレーター及び周囲に危険を促します。車体幅から人が外れれば警報音と積層灯(黄色)消灯  
赤色エリア:更に人を検知し続けると前後進レバーがシリンダーにより(5mから減速開始)中立となり停止。ブレーキを解除すれば再度前後進が可能



モニター画面



積層灯

※本装置は安全補助装置です。100%事故を防ぐものではありません。使用にあたっては従来通りの安全注意事項を必ずお守りください。

■レンタル開始日：2022年10月4日(火)～

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専

門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 道路機械事業部 担当者:今関、安田

TEL:03-6666-2262